



# キヤノンプレジジョン株式会社

代表者名：代表取締役社長 藪 猛二  
業種：製造業（LBP用トナーカートリッジの製造）  
所在地：青森県弘前市清野袋5-4-1  
労働者数：1850名（男性1357名、女性493名）



## 1 企業概要

カメラ、事務機、光学機器をはじめとする映像情報機器で広く世界に親しまれているキヤノン。キヤノンプレジジョンは、その商品力を支えるグループ企業として、トナーカートリッジ事業・センサー事業を展開しています。

## 2 子育て支援に力を入れたきっかけと効果

キヤノンプレジジョンでは、子育て支援制度を整備できていたことにより、平成20年に1回目の認定を受けることができました。その後、男性の育児休業取得促進のために、社内報等で制度を周知したり、行動計画の目標に掲げ社内に周知するなど、男性が育児休業を取得しやすい風土づくりに取り組みました。

その結果、男性の育児休業取得率は50%を超え、令和5年には5回目のくるみん認定とプラチナくるみん認定を受けることができました。

## 3 計画に掲げた目標

（計画期間 令和3年4月1日～令和5年3月31日）

- ①男性の育児休業及び育児目的休暇の取得率を合わせて50%以上にする。
- ②時間外労働削減及び年次有給休暇取得促進（年間平均10日以上）のための取組を行う。
- ③次世代を担う子どもが参加できる地域貢献活動を実施する。

## 4 主な取組内容・取組効果

### 主な取組内容

- ①社内報で育児休業等についての情報掲載。
- ②-1管理職に対して労務管理研修を実施。
- ②-2全社員に時間外労働及び年次有給休暇取得率を、「見える化」。
- ③近隣小学校にて出前授業を実施。

### 取組における工夫点

男性の育児休業取得を推進するため、社長や管理職からの取得推進メッセージや育児休業を取得した男性社員へのインタビューなどを社内広報紙で発信しています。これらの取組により、男性の育児休業取得者は年々増加しております。

年次有給休暇の取得推進については、勤務管理システムに年間休暇予定を年初に登録する、定期的に行う上司との面談の際に、休暇登録状況を確認し合う等、計画的に取得できる環境を整備しています。

### 育児休業等の取得状況 （計画期間内）

- ・ 育児休業及び育児目的休暇を利用した男性労働者  
：取得率105%（配偶者が出産した男性労働者87名のうち92名取得）
- ・ 育児休業を取得した女性労働者：取得率100%（出産者38名のうち38名取得）

【取得した男性労働者の声】取得予定の半年くらい前から少しずつ業務調整を上司にお願いし、自分がない分をカバーしてもらえ環境を整えてもらいました。職場の理解や協力のおかげでとてもスムーズに取得できました。産まれたばかりの子どもの世話はとても大変でしたが、夫婦で協力して取り組むことで大変さは半分以下、喜びや楽しさは2倍以上になるということを実感できました。この時期の経験は今後の人生に大きな影響を与えたいと思います。

## 5 企業代表 からの メッセージ

キヤノンプレジジョンでは、子育てを行う従業員が仕事と家庭を両立できるように、社内制度拡充や男性の育児休業取得を推進しております。男女ともに働きやすい環境を整えることで従業員が生き生きと働き、地域社会に貢献できる企業を目指してまいります。